ホッとさぽーとだより

神奈川県立伊勢原養護学校
連携支援グループ　地域支援・相談班
令和4年7月発行　No.２

梅雨が明けたかと思えば連日の猛暑で身体の調子も崩れやすい時期ですね。皆様くれぐれも体調にはお気をつけて充実した夏休みをお過ごしください。

今回は専門職、支援グッズ、ボランティアさんについてご紹介します。

学校内の専門職について

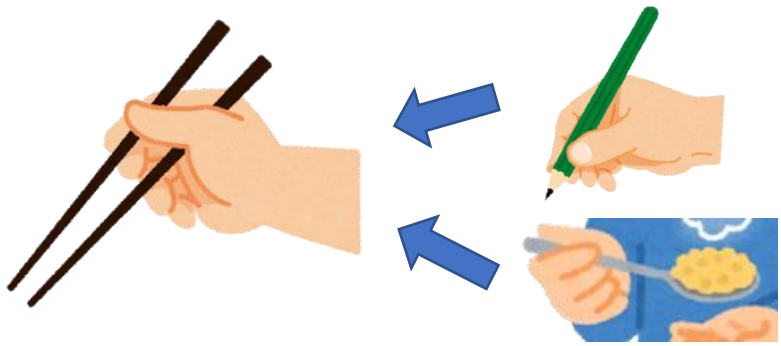
神奈川県立の特別支援学校には、４職種の専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理職）が１名または2名ずつ各学校に配置され、学校内で担任の先生と一緒に子どもたちの支援をしています。療育で出会う専門職と違い、個別のセラピーをしているわけではありませんが、学校内で、担任の先生と一緒に一人ひとりの子どもたちのことを考えていろいろなアイディアを共有しています。是非学校内でお会いしたらお気軽にお声がけくださいね。

各職種の仕事の内容は、右のQRコードから見てみてください。

伊勢原養護学校には現在作業療法士（OT）がいます。校内では、姿勢のこと、給食の時間の指導に関すること、視知覚（ものを見る力）に関する相談などに対応しています。

今回は、お箸を使えるようになるために知っておいてほしいことをお伝えします。

スプーンやフォークが使えるようになると、次はお箸…と思いますよね。最近は、エジソン箸などの介助箸が数多く市販されているので使いたくなると思いますが、道具があれば箸が使えるようになるわけではないのです。箸が使えるようになるには、まず、１本の箸を鉛筆やスプーン・フォークと同様に三本の指で持てるようになることが大切で、それができると、もう一本加えて固定するだけで、操作できるものなのです。お箸を持ちたいという気持ちが出てきたら、まずは普通の箸で簡単に挟んだり、さしたりできるものだけを食べて成功体験を増やし、徐々に全部食べるようにしていくことが大切です。



お箸を使うためには、まず鉛筆や食事で使う道具の持ち方が大切なんですよ。
いろいろな視点で見ていきましょう。

支援グッズの紹介

日頃、皆さんは自分の姿勢を意識できていますか？

伊勢原養護学校には、勉強等で机に向かうときに背筋を伸ばした姿勢を保つのが難しく、背中が丸まりがちな児童生徒が多いようです。そこで、今回は『ムービングクッション』をご紹介します。このムービングクッションは空気量を調節できるクッションで、いすの上でも、床の上でも使用することができ、背骨をサポートしているインナーマッスルを活発にしてくれるそうです。

現在このクッションを使用している生徒に使い心地を聞くと、「背筋が伸びる感じがする」とお話ししていました。こういったグッズを上手に活用して、よりよい学習環境が作れるとよいですね。

♪ボランティアさんの紹介♪

現在3名のボランティアさんに食堂の清掃や児童の学習サポートなどを行っていただいています。学校で出会った時はぜひ元気に挨拶してくださいね。1年間よろしくお願いいたします！

ボランティアさん随時募集中です！

給食支援ボランティア

- 食堂清掃
- 給食の見守り
- 配膳、下膳など

毎日　13:30頃

学習支援ボランティア

- クラスに入り児童生徒のサポート

毎日　8:30～15:00

通学支援ボランティア

- 登下校時の通学路の見守り

毎日　登校　8:30～9:30頃

下校　15:00～15:30頃

ともボラ

- 得意なことをいかして一緒に授業する

毎日　8:30～15:00

TEL：0463-93-7298（直通）

ご都合のよい曜日、時間だけでOKです！少しでも大歓迎！

※次回は9月発行予定です。